

令和4年度取り組み目標の変更一覧



1. 安全で信頼される医療の提供（医療の質の向上）

中項目	小項目	中期経営計画上で実施するとされていること	令和4年度の計画策定当初目標(変更前)	変更	令和4年度目標(変更後)	目標変更理由
感染管理体制の充実	感染防止活動の充実	院内感染防止対策の推進	院内感染対策研修会 感染対策 年2回、ICT研修会 年2回 ICTカンファレンス・ラウンド 週1回 感染防止対策加算1-2カンファレンス 年4回 感染防止対策加算1相互チェック 年1回 院内感染対策マニュアル 1月までに改訂	追加・変更	院内感染対策研修会 感染対策 年2回、ICT研修会 年2回 ICTカンファレンス・ラウンド 週1回 感染防止対策加算1-2カンファレンス 年4回 感染防止対策加算1相互チェック 年1回 院内感染対策マニュアル1月までに改訂	院内感染対策マニュアルの改定は令和3年度に完了見込みのため削除
	感染症の流行に備えた対策の強化	防護用品の計画的な備蓄・更新	3ヶ月分の防護用品の在庫確保	追加・変更	1ヶ月分 の防護用品の在庫確保	保管場所、流通を考慮すると3ヶ月分は不要であり、流行を鑑みて対応すべきであるため
医療安全管理体制の充実	医療安全文化の醸成	インシデント報告件数の増と浸透の仕組み作り	インシデント報告件数 年6,500件以上 インシデント報告ゼロ部署の解消 医師、研修医のインシデント報告割合10%以上の継続 研修医のインシデント報告件数 1人10件以上 医療安全管理室活動レポートの院内発信 年6回	変更	インシデント報告件数 年7,000件以上 インシデント報告ゼロ部署の解消 医師、研修医のインシデント報告割合10%以上の継続 研修医のインシデント報告件数 1人10件以上 医療安全管理室活動レポートの院内発信 年6回	インシデント報告システムを変更し、入力のし易さからゼロレベルの報告件数が増加しているため、目標報告件数を増やした
救命救急センターの充実	積極的な受け入れ体制の強化	救急車の受け入れ台数、応需率の増加	救急車受け入れ台数 年4,550台以上 全体応需率 80%以上、三次応需率 85%以上	変更	救急車受け入れ台数 年4,550台以上 全体応需率 80%以上、三次応需率 80%以上	COVID-19による救急搬送数の減少が継続することが予想されるため変更 全体応需率は調査困難の為削除
	重症救急患者の受け入れ増	重症救急患者数の増加	重症救急受け入れ患者数 年2,010人以上	変更	重症救急受け入れ患者数 年2,000人以上	COVID-19による救急搬送数の減少が継続することが予想されるため変更
	重度外傷センターの充実	外傷救急患者の受け入れ増加	外科系外傷救急患者の受け入れ数 年510人以上	変更	外科系外傷救急患者の受け入れ数 年450人以上	COVID-19の影響もあり、従来より外傷傷病者が減少しているため
	脳卒中センターの充実	脳梗塞超急性期治療の充実	rt-PA静注療法 年35件以上 血栓回収術 年47件以上	変更	rt-PA静注療法 年35件以上 血栓回収術 年60件以上	令和3年度の血栓回収術目標を達成見込みのため
地域がん診療連携拠点病院の充実	高度型としての体制整備	将来的に指定要件が厳格化されることを見込んだ整備	令和4年度に提出する令和3年がん検診率 30%以上 つらさの間診票 年450件以上 地域連携クリニカルパス(5大がん) 年3件以上	変更	令和4年度に提出する令和3年がん検診率 25%以上 つらさの間診票 年450件以上 地域連携クリニカルパス(5大がん) 年30件以上	5大がん以外の登録数の増加でがん検診率が相対的に低下しているため 連携パス件数が順調に伸びているため
		化学療法の充実	がんに係る薬物療法延べ患者数 年2,100人以上 連携充実加算件数 年1,400件以上	変更	がんに係る薬物療法延べ患者数 年2,700人以上 連携充実加算件数 年1,400件以上	令和3年度実績が令和4年度目標を上回ったため
	放射線治療の充実	前立腺がんに対するIMRT実施件数 年20人以上 前立腺がん以外の症例に対するIMRT実施件数 年10人以上	追加・変更	IMRT実施件数 年80人以上	治療計画装置増設によりボトルネックが改善する、新リニアック稼働より年々習熟度が増加中のため	
	ロボット手術の充実	泌尿器科ロボット手術件数 年100例以上 外科ロボット手術件数 年20例以上	追加・変更	泌尿器科ロボット手術件数 年80例以上 外科ロボット手術件数 年20例以上 産婦人科ロボット手術件数 年10例以上	令和3年度の目標の達成が難しい見込みであり、手術枠も限られている現状を踏まえ、再度80例に設定した 令和3年度から開始した産婦人科ロボット手術件数を追加	
	乳腺センターの充実	乳がん診療の充実	乳腺疾患手術例 年300例以上 乳房再建 年30例以上	追加・変更	乳腺疾患手術例 年300例以上 乳房再建 年30例以上 地域連携パス 年30例以上	連携パス件数が順調に伸びているため
	緩和ケアセンターの充実	緩和ケア病棟の運営充実	専従医2名体制 緩和ケア病床稼働率 88%以上 研修会 年4回開催	変更	専従医2名体制 緩和ケア病床稼働率 86%以上 研修会 年4回開催	病棟が一時閉鎖となっていたこともあり、令和3年度目標未達のため4年度も3年度と同じ目標とする
	ゲノム医療の推進	遺伝カウンセリング外来の充実	遺伝カウンセリング 年30例以上	変更	遺伝カウンセリング 年70例以上	令和3年11月時点で年度目標を達成したため
施設・設備及び医療機器等の計画的な整備	計画的な医療機器の更新・導入・廃棄	がんゲノム医療連携病院の認定取得	がん薬物療法臨床試験登録 2人 臨床遺伝専門医資格、認定遺伝カウンセラー資格、GMRC(ゲノムメディカルリサーチコーディネーター)もしくはCGMC(がんゲノム医療コーディネーター)の有資格者の育成	追加・変更	がん薬物療法臨床試験登録 2人 臨床遺伝専門医資格、認定遺伝カウンセラー資格、GMRC(ゲノムメディカルリサーチコーディネーター)もしくはCGMC(がんゲノム医療コーディネーター)の有資格者の育成	臨床遺伝専門医資格は令和3年度に1名取得し、令和4年度には取得見込みのものがいないため
		施設・設備の計画的な整備	新病院移転までの現病院の延命化を図る	追加・変更	超電導磁石式全身用MR装置の更新 血液照射装置の廃棄	血液照射装置の廃棄は令和5年度に実施する計画であったが、海外への海上輸送費用が高騰してきている状況の中、令和4年度は他の病院と乗り合いの船で輸送でき、海上輸送費用を按分することで低く抑えられることから令和4年度に前倒して実施するため MR装置の更新は4年度に実施予定のため追加
				追加・変更	E館空調機予防修繕(2階東側諸室及び3~5階)	目標の変更ではないが、令和4年度の実施予定が決定したため

令和4年度取り組み目標の変更一覧



中項目	小項目	中期経営計画上で実施するとされていること	令和4年度の計画策定当初目標(変更前)
患者サービスの向上	広報の充実	ホームページの充実	ホームページアクセス件数 年24万件以上
良質なチーム医療	良質な人材の確保	医師の確保	救急科3名、麻酔科3名、精神科2名、感染症科2名、放射線診断科1名、腫瘍内科1名、緩和ケア内科2名、臨床病理1名のうち3名確保
		チーム医療の充実	栄養サポートチームの充実
		フットケアチームの充実	フットケアチーム介入件数 年120例以上
		骨粗鬆症リエゾンチームの充実	骨粗鬆症リエゾンチームの介入件数 年120件以上
働きがいのある職場づくり	働き方改革の推進	タスクシフティングの推進	医師事務作業補助体制加算1(15:1)維持 外来へのDAの介入時間 週115時間(対象診療科の目安:4科)

令和4年度目標(変更後)	目標変更理由
ホームページアクセス件数 年24万件以上 トップページのお知らせ更新回数 100回 各部門のページ更新回数 200回	ネガティブなことでアクセス件数は伸びるが、それではホームページの充実とは言えないため、目標を更新回数とすることで、最新の情報を発信を目指す
救急科 3名 、麻酔科 3名 、精神科 2名 、感染症科 2名 、放射線診断科 1名 、腫瘍内科 1名 、緩和ケア内科 2名 、臨床病理 診断科1名 、 脳神経内科 のうち3名確保	確保状況の変化のため
NST算定件数 年800件以上	現状に合わせて変更
フットケアチーム介入件数 年70例以上	2021年1~11月までの介入が60例であったため
骨粗鬆症リエゾンチームの介入件数 年100件以上	3年度実績を踏まえ、4年度も引き続き同じ目標を掲げて達成を目指す
医師事務作業補助体制加算1(15:1)維持 外来へのDAの介入時間 週100時間(対象診療科の目安:3科)	10月末で1名が退職、3月末で1名が退職予定、現在2名が産休中であり、令和4年度は外来に介入するDAの教育を行いながら3科、週100時間を目指す

2. 安定した病院経営

中項目	小項目	中期経営計画上で実施するとされていること	令和4年度の計画策定当初目標(変更前)
収入の確保	その他の収入確保策	手術室での業務に対応できる看護師 3名育成 A館手術室稼働率 78%以上 E館手術室稼働率 65%以上 時間外手術も加味した修正稼働率の目標設定	
		緊急、準緊急手術の積極的な受け入れ	全身麻酔件数 年2,678件以上
		リンパ浮腫複合的治療料の算定	リンパ浮腫複合的治療料の算定件数 1 重症の場合 年80件以上 2 1以外の場合 年80件以上
		ADL維持向上等体制加算の土曜日算定、専従職員の配置	ADL維持向上等体制加算 月平均580件以上

令和4年度目標(変更後)	目標変更理由
手術室での業務に対応できる看護師 3名育成 A館手術室稼働率 78%以上 E館手術室稼働率 35%以上 時間外手術も加味した修正稼働率の目標設定	手術枠の変更により分母の数値が変動するため、実際の数値に即した目標へ変更した
全身麻酔件数 年2,600件以上	コロナ禍でいまだ達成されていない令和3年度の件数をまずは目標とした
リンパ浮腫指管理料の算定 年80件以上 リンパ浮腫複合的治療料の算定件数 1 重症の場合 年70件以上 2 1以外の場合 年70件以上	乳腺リンパ節郭清術施行患者の指管理料(入院中1回+退院後1回、各100点)の算定漏れが多いため、そちらを優先する指導を行うことで、リンパ浮腫の予防、重症化を予防しセルフケアの充実を図る
ADL維持向上等体制加算 月平均 550件以上	全土曜日の人員配置が困難なため

3. 教育・研究等の充実

中項目	小項目	中期経営計画上で実施するとされていること	令和4年度の計画策定当初目標(変更前)
臨床研究部の充実	治験実施件数の増加	新規治験受託件数の増加	新規治験受託件数 年9件以上
	臨床研究サポートの推進	標準業務手順書の作成	臨床研究サポート準備
人材育成	看護師の専門性の向上	認定資格等の取得、特定行為研修への参加	特定認定看護師受講者 1名 特定行為研修受講者 1名
	メディカルスタッフの専門性の向上	認定資格の取得・維持	新たな認定資格の取得 臨床検査技師 3名 放射線技師 1名 臨床工学技士 2名(令和5年度までに取得) 理学療法士 1名 現在の認定資格の維持 管理栄養士
	事務の専門性の向上	事務局内の専門研修の実施、外部の専門的研修への参加	内部研修 年5回以上 外部研修 年62人以上

令和4年度目標(変更後)	目標変更理由
新規治験受託件数 年3件以上	当院で実施できる治験が減っており、希少疾患や超急性期疾患の治験が多く、実施までなかなか結びつかないため
臨床研究サポート準備 特定臨床研究サポート、院内体制の整備・構築	標準業務手順書を作成したので、目標変更した
特定認定看護師受講者 1名 特定行為研修受講者 1名	特定認定看護師の令和4年度課程の受験者1名が不合格となり、目標の達成が不可能となったため
新たな認定資格の取得 臨床検査技師 3名 放射線技師 1名 臨床工学技士 2名(令和5年度までに取得) 理学療法士 1名 現在の認定資格の維持 管理栄養士	臨床工学技士の目標を令和3年度に達成したため、新たに2名を追加する
内部研修 年4回以上 外部研修 年62人以上	コロナ禍でいまだ達成されていない令和3年度の回数をまずは目標とした

4. 新病院へのステップアップ

中項目	小項目	中期経営計画上で実施するとされていること	令和4年度の計画策定当初目標(変更前)
新病院建設事業の推進	新病院建設事業の着実な推進	建設事業の円滑な遂行	基本設計完了 実施設計着手
IT化への対応	ITを活用した広報の充実	ITを活用して病院の広報や機能の強化を図る	連携ネットワーキングリスト登録数 170件以上
	オンラインツールの活用	採用試験や院内研修会、外部との会議などのオンライン実施を行うための環境整備	要望に対するヒアリングの実施

令和4年度目標	目標変更理由
基本設計 着手 完了 実施設計着手	移転予定地である海老川上流地区土地区画整理事業のスケジュール変更に伴い、新病院整備スケジュールについても変更が生じたため
連携ネットワーキングリスト登録数 230件以上	令和2年~3年の連携医訪問時、リスト未登録の全医療機関に登録を依頼した結果、大幅に登録数が伸びたため
WEB会議の環境維持	令和3年度にWeb会議の環境整備が完了して既に様々な場面で活用されており、ヒアリングを実施する必要がなくなったため